

## アソカ講話021

### テーマ「丹精を込める」

小さな人生論 1巻6章に次の言葉が載せられている。

「真の活学は人の相を変え、運命をも変える。事実をあるがままに受け止め、その不自由な体を抱えたまま、どうやって人生を切り開いていくか、その解答をひたすら古典の中に深め、心術を練り上げていったのである。丹精を込めるとは、真心を込める、ということである。真心をこめて物事を仕上げるということである。自分の仕事に、人生に、そして自分自身に丹精を込めていく、そういう人生のあり方を模索したい」と。

学びは自分を変え、人生を変える。私自身の人生を振り返っても、読書による学びがあればこそ、今の自分がある、人生を豊かなものにしてもらったとしみじみ思う。

人生は良い本、良い師との出会いだと思う。その良い出会いをもたらすものは、実は真心をこめて自分の人生を生きるという姿勢である。さすれば、必ずや、あなたに必要な時に、必要な人、必要な本、必要な言葉に出会わせてくれるでしょう。未来は一条の光に照らされています。その光に気づき、その光を燦々と輝かしくするものは、学びです。皆さん丹精込めて学びましょう。